

## 大規模地震・大津波が発生した場合の対応マニュアル

情報名・発災	津波予報	学校	各科海洋実習中	実習船福島丸乗船中
大規模地震発生		①教室にいる場合 机の下にもぐり、机の脚をしっかり持って頭を保護するように指示する。 ②廊下および階段にいる場合 近くに教室があったら直ぐに教室に入り、空いている机の下にもぐるように指示。近くに教室がない場合、窓ガラスから離れ、姿勢を低くして待機するように指示する。 ③体育館にいる場合 用具室から離れ、体育館の中央に集合するよう指示。地震が収まったら校庭に避難。	①艇庫にいる場合 頭を保護しながら外に避難する。今後の情報に注意する。 ②海上にいる場合 海洋活動は中止し、直ちに艇庫に引き返すか、最寄りの岸に上陸後、高所に移動し、今後の情報に注意する。	①生徒は時間に余裕がある場合には、指導教官の指示のもと高台へ避難する。 ②乗組員は直ちに、海上回避行動をとる。出港出来ない場合、安全と判断されれば船内に留まる。 ③時間に余裕がある場合は、近くの高台へ避難する。
	津波注意報	0.5m 程度の高さの予想	機関工場、製造工場及び校庭にいる生徒は直ちに本校舎の教室に避難。教室にいる生徒はそのまま教室待機。今後の情報に注意する。 注意報解除前 生徒は帰宅させない。保護者に生徒引き渡しも行わない。 注意報解除後 保護者と連絡を取れた生徒および保護者が迎えに来た場合生徒を帰宅させる。その際、交通状況を確認する。	艇庫から津崎神社へ避難。今後の情報に注意する。
大津波警報	2m程度の高さの予想	①3・4階教室に避難する場合貴重品を持ち、指定された教室へ避難。 ②小名浜高校校庭に避難する場合 貴重品を持ち、急いで職員玄関前に集合した後、クラス毎に点呼を実施し、小名浜高校校庭へ避難する。避難を完了したらクラス毎に本部へ連絡。	①艇庫に避難する場合 津崎神社から三崎公園（いわきマリンタワー前に集合）に避難する。避難が完了したら点呼をとりデジタル業務無線または携帯電話により本部へ連絡。 ②最寄りの岸に避難する場合 直ちに高台へ避難する。避難が完了したら点呼をとりデジタル業務無線または携帯電話により本部へ連絡。	①津波到達予想時間が30分以内の際は、実習生・乗組員共に高台へ避難する。 ②津波到達予想時間が30分以上ある場合には、指導教官は実習生を連れて高台へ避難する。乗組員は直ちに海上回避行動をとる。
	3m以上の高さの津波が予想される場合	③警報解除前 生徒は帰宅させない。保護者に生徒引き渡しも行わない。 ④警報解除後 保護者と連絡を取れた生徒および保護者が迎えに来た場合生徒を帰宅させる。その際、交通状況を確認する。		
情報収集連絡手段（機器等）		・テレビ、ラジオ ・デジタル業務無線機 ・携帯電話（緊急地震速報対応型）	・テレビ、ラジオ ・デジタル業務無線機 ・携帯電話（緊急地震速報対応型）	・双方向VHF無線電話 ・ナブテックス受信機 ・海事衛星通信装置

・1号埠頭及び2号埠頭に係船中の避難場所：イオンモール3階以上・海上保安庁の屋上等

・中央埠頭に係船中の避難場所：三崎公園周辺（マリンタワー前に集合） ※担任お避難の際、必ず生徒名簿を持って避難する。 2018.9.26 現在